

国际交流学部客座教授赵世举工作总结

应神戸学院大学前校长佐藤雅美教授和神戸学院大学国际交流学部胡士云教授邀请，我于2022年5月17日从中国武汉大学来到神戸学院大学担任客座讲授，至8月13日工作结束。在神戸学院大学相关方面的大力支持和热情帮助下，顺利完成了各项工作任务，愉快地度过了三个月的美好生活。首先，我要特别地感谢前校长佐藤雅美教授的邀请和接见，感谢校长中村惠教授和大学事务局长住智明先生的接见，感谢国际交流部高山修部长、加藤爱美女士、住谷健先生和阿部直子女士提供的热情帮助，感谢国际交流学部学部长胡士云教授和学部室各位职员、简珮铃女士等有关人员自始至终给予的大量帮助和周到安排。现将我这三个月的工作情况报告如下。

1, 教学

我配合胡士云教授承担了如下三门课程：

(1) 中国语研究。主要教学方式是，挑选重要的中国语研究文献指导学生研读，同时结合文献讲授专业知识、基础理论、研究方法和其他方面的相关知识，训练学生的创新思维能力和研究问题、解决问题的能力。然后，指导学生撰写研究中国语的论文、反复修改并在课堂上发表。先后选讲的主要研究文献有胡士云的《“娘”字疏证》、陆俭明的《“VA了”述补结构语义分析》、陈章太的《论汉字简化》、赵世举的《定语的语义指向试探》等。

(2) 中国语写作与发表。旨在指导学生开展中国语写作训练，通过讲授重要的写作方法、让学生动手用中国语写文章并使用PPT展示、反复指导学生进行书面修改和课堂讨论修改等方式，培养学生的语言素养和其他知识素养，训练和提升学生的中文应用能力、写作能力和创新思维能力。

(3) 毕业研究报告写作。指导学生修改和完善毕业论文写作方案，开展资料调查和整理，完成和修改毕业论文初稿。

总的看，课堂状态良好，完成了各项教学任务，实现了教学目标；同时，通过与胡士云教授的密切合作，也从他那里学到了先进的教育理念、高度敬业的精神、关爱学生的情怀和许多很好的教学方法，我也收获很大。

2, 学术交流

除了在神戸学院大学校内开展教学和学术交流之外，经国际交流学部同意，在没

有耽误校内工作的前提下，我也以神户学院大学客座教授和武汉大学教授的名义，于7月14日应邀到大阪大学做学术讲座，题目是《从汉语语法的经济性看语法与语义的关系》，并与听讲座的师生开展了热烈的学术讨论；于8月7日应关西汉语教师交流协会邀请，在该协会学术年会上做学术报告，题目是《词汇在语言机制和语言教学中的地位及作用》。两场报告都产生了良好反响。

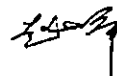
3, 学术研究

已撰写完成学术论文《再论“术语—话语—话语体系—话语权”——以语言学为例》，正在撰写论文《中国语言学的历史传统与发展趋势》，都将以神户学院大学客座教授的名义发表。

总之，三个月的客座教授生活丰富多彩，本人按照神户学院大学有关方面的要求，顺利完成了各项工作任务，感到非常充实而愉快。神户学院大学先进的办学理念、严谨高效的管理和教学、努力学习的学生、风景如画的校园，尤其是国际交流学部学部长胡士云教授和他的同事们各方面的优秀表现等，都给我留下了深刻的印象。特别令我难忘的是，这次客座交流是在新冠疫情仍然流行的情况实施的，相关各方都克服了重重困难给予支持，这表明神户学院大学和武汉大学两校乃至中日两国，都乐意开展务实的交流合作。由此，我也对我们双方未来的交流合作充满信心和期待，我也乐意为我们双方继续推进和深化交流合作贡献力量。

神户学院大学客座教授

武汉大学教授



2022年8月15日

参考訳文

神戸学院大学前学長の佐藤雅美教授およびグローバル・コミュニケーション学部の胡士雲教授のお招きで、2022年5月17日に中国武漢大学から神戸学院大学に客員教授として来て、8月13日まで勤務を終了しました。神戸学院大学関係者の方々の多大なご支援とご熱意に支えられて、様々な仕事を無事にこなし、素晴らしい3ヶ月間を過ごすことができました。まず、お招きいただきお会いした前学長佐藤雅美先生、学長中村恵先生、大学事務局長住智明様に感謝申し上げます。また、高山修部長、加藤愛美様、住谷健様、阿部直子様をはじめ、大変お世話になりました国際

交流課の方々に感謝申し上げ、終始お世話になり心づくしの手配をしていただいたグローバル・コミュニケーション学部の胡士雲学部長、学部室職員の各位、簡珮鈴女史等の関係者の皆様に感謝申し上げます。この3ヶ月間の仕事について、以下の通りご報告させていただきます。

1, 語学教育

私は胡士雲教授と協力して次の3つのコースを担当しました。

(1) 中国語研究。主な教授法は、重要な中国語研究文献を選定し、それを学生に学習するように指導し、文献と合わせて専門知識、基礎理論、研究方法などの関連知識を教え、学生の創造的思考能力と問題を研究し、解決する能力を訓練しました。そして、中国語に関する研究論文を書き、推敲し、授業で発表するよう指導しました。主な研究テキストとして、胡士雲氏「“娘”字疏証」、陸俊明氏「“VA了”述補結構語義分析」、陳章太氏「論漢字簡化」、趙世挙「定語的語義指向試探」などが選ばれました。

(2) 中国語作文。本授業は、中国語の文章を書くトレーニングを目的とし、重要な文章作成方法の講義、中国語の文章作成体験、パワーポイントによるプレゼンテーション、書面の修正やクラスディスカッションの修正を繰り返し指導することを通じて、学生の言語素養とその他の知識素養を育成し、学生の中国語応用能力、作文能力と革新的思考能力を訓練し、向上させました。

(3) 卒論作成。学生に卒業論文の作成方案の修正と改善を指導し、資料調査・整理の実施、卒論初稿の完成・修正などの指導を行いました。

全体として、授業は良好な状態にあり、様々な教育タスクを完成し、教育目標を達成しました。同時に、胡士雲教授との緊密なご協力により、私も胡教授から先進的な教育理念、高いプロ意識、学生への思いやり、そして多くの良い教授法を学びました。

2, 学術交流

神戸学院大学での語学教育・学術交流に加え、学内の仕事に支障がない前提の下で、グローバル・コミュニケーション学部の同意を得て、7月14日には大阪大学に招かれ、「中国語文法の経済性から文法と意味の関係を考える」というテーマで学術講演を行い、講座にご出席なされた教師と学生と熱烈な学術討論を展開しました。

そして、8月7日、関西中国語教師交流協会のご招待に応じて、同会の年次学術大会において「言語メカニズムと言語教育における語彙の位置と役割」と題する学術報告を行いました。どちらの発表も好評でした。

3, 学術研究

既に「術語-話語-話語システム-話語権を再論する——言語学を例に」という学術論文を完成し、現在は「中国言語学の歴史的伝統と発展趨勢」に関する論文を執筆中で、いずれも神戸学院大学客員教授の名義で発表する予定です。

全体として、客員教授としての3ヵ月は非常に充実した楽しいものであり、神戸学院大学関係者のご要望に応じて、各任務を無事に遂行することができました。神戸学院大学の先進的な教育理念、厳格で効率的な運営管理と教育活動、勤勉な学生、美しいキャンパス、最もグローバル・コミュニケーション学部長胡士雲教授とその同僚たちの素晴らしいご活躍に感銘を受けました。特に、今回の学術交流は新型コロナウイルスがまだ流行している時期に行われたこと、いろいろと困難な状況にもかかわらず関係者の皆様のご協力くださったことは、神戸学院大学と武漢大学、そして中国と日本がともに実務的な交流と協力に取り組もうとする姿勢を示していると思いました。したがって、私は両大学の将来の交流と協力を確信と期待を抱いており、両大学の交流と協力の継続的な促進と深化に貢献できることを嬉しく思っております。